

知的財産事例

株式会社フジテクノ

油圧システムの専門会社として新たなバルブを開発 ECサイト『ツギタロウ.com』での商標取得でブランド力も向上

事業内容

1990年設立

油圧機器・部品の設計・製作・販売

知的財産権と内容

特許第7440049号	流量制御弁
特許第7583395号	画像処理装置、画像処理方法、画像処理プログラム、および画像分類装置、 ならびにこれにより生成された学習済みモデル
特許第7150363号	昇降運搬車
商標第6400505号	ツギタロウドットコム、ツギタロードットコム、ツギタローコム、ツギタロー
意匠第5061040号	スロットルチェックバルブ

(2025年7月現在)

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



代表取締役社長 藤井 健太郎さん

油圧機器のエキスパートとして 大手から個人まで幅広い顧客に対応

当社は、1990年に藤井社長の父が創業。当初から油圧機器に関する事業を行い、部品の提供や機器の設計・製造・販売などに対応している。国内の有名油圧機器メーカーとも長年取引を続け、高い専門性や課題に誠実に向き合う姿勢などを武器に信頼関係を築いてきた。別業界の研究・営業職に就いていた藤井社長が30歳を迎えた時、家業を継ぐため当社へ入社。2017年に代表就任してからは、前職での特許取得経験を活かし、知的財産の取得や活用、大学との共同研究などにも力を入れているという。また、現在は商標を取得した油圧部品・機器の自社ECサイト『ツギタロウ.com』を展開することで、個人事業主や遠方の企業などの顧客にも対応できるよう工夫を行っている。

山口県のINPITと協力し ECサイト名の商標や自社製品の特許を取得

藤井社長は前職の頃、チームの一員として特許を取得した際に、知財取得に取り組むことでの達成感をはじめ、重要性も強く感じたという。当社を継いだ現在でも、新たなアイデアが浮かんだ際には「特許を取得できないか？」と考えることを前提に開発を進めるなど、当時の経験を活かしている。初めてINPITに相談したのは、自社ECサイト『ツギタロウ.com』の商標登録を検討した時だった。始まりは営業活動の中で、顧客に

「カタログはないか」と聞かれることがあり、周年記念にあわせてWebカタログを制作したことだ。Webカタログの閲覧状況を分析したところ、これまでターゲットとしていた小口の事業主をはじめ、通常は距離的に取引が難しいとしていた東京や大阪などの大企業もアクセスしていることがわかったことで、取引の幅を広げることができたという。その延長でECサイトを立ち上げ、さらに営業領域を拡大することができた。立春の2月4日に開設したいという藤井社長の想いもあり、商標はINPITの担当者の手も借りつつ、藤井社長自ら早期審査を活用して申請を行った。商標を取得できたことでECサイトの認知度が向上していくのを肌で感じられていることや、取得しておくことでトラブルを避けられるという安心感を得られたという。また、当社開発の製品では、特許と意匠の両方を取得した『流量制御弁』に注目したい。これは油圧システムにおいて油の流れを制御する「バルブ」であるが、一般的なT字型は左右対称であり、塗装することで視認ミスが高まることから設置トラブルが発生しやすかった。そこでバルブを矢印型にすることで、制御方向の視認性を向上させ、誤設置による不具合を防止しながら微細な油圧調整を行えるよう改良したのが『流量制御弁』である。ただし、従来よりも必要となる部品点数が多く、製造精度も高く要求されるため、開発の際には技術部と連携して試作・検証を重ねたそうだ。

知財は社員のモチベーションに繋がり 人材確保にも貢献している

知財の取得は社内のモチベーション向上にも役立っている。若手社員の創意工夫を積極的に採用していることもあって、特許取得が社員にとって“誇り”となり、社員の一体感も強化された結果、さらなる技術開発の促進に繋がっているという。また、人材獲得にも寄与しており、『小規模ではあるが、先を見据えて特許取得にも熱心に取り組んでいる会社』といった認識が広がり、当社のイメージアップやPRにもなっている。藤井社長は「今後も中小企業ならではの強みを活かし、ニッチな分野で細やかなニーズに応えられる存在を目指したい」と展望を語る。そのためにもより一層知財を戦略的に活用し、自社の権利と利益を守りながら社業を発展させていく方針だ。

知財取得・活用における苦悩



現在、当社は複数の知財を所有しているが、『流量制

御弁』の特許出願をした際、拒絶理由通知を受けた経験もある。しかし、INPITの支援担当者や担当弁理士の前向きな支援もあり、製品の独自性を伝えるべく根気強く修正した結果、無事に登録に至った。知財の専門部署や担当者を持たない中小企業だからこそ、申請や活用には壁を感じることも少なくないが、INPITをはじめ、相談できる専門機関の存在が大きな支えであるという。

知財取得を目指す経営者へのメッセージ



「中小企業の場合、知財取得はハードルが高いように感じられるかもしれないが、日常の業務や取り組みの中にヒントやきっかけが隠れていることもある。まずは、INPIT等の専門機関に相談してみしてほしい」と藤井社長は話す。そして「専門家の支援を受けながら少しずつ理解を深めていくことで、自信が持てるようになる。ゆくゆくは組織の活性化や若手の成長にも繋がり、会社の成長にも貢献できるはずだ」と続けた。



特許・意匠を取得したオリジナル製品の流量制御弁『スロットルチェックバルブ』



『ツギタロウ.com』はユニークな名称だけでなく、機能的なページ構成も特徴



知的財産活用のポイント

細やかにニーズに寄り添う姿勢と あえて技術を秘匿するバランス感覚

当社は特許製品として代表的な『流量制御弁』をはじめ、常に顧客ニーズを踏まえて新たな商品の開発を行ってきた。現在も大学との共同研究により、外観検査の判断基準の差やスピード差を解決するための「AIによる外観検査システム」の開発を進

めるなど、専門家と協力しながら積極的に新規アイデアの実現に動いている。しかし、知財を前向きに取得する一方で、「あえて取得しない選択肢」についても考えているという。特に他社の参入が難しい“ノウハウ重視”の製品ほど、秘匿性を重視し、戦略的に区別する方針を取っている。先代から受け継がれた技術力に、藤井社長の時代に沿った発想力と実行力が加わり、適切な知財の取得・活用へと繋がった。

COMPANY DATA

取材：2025年7月

企業名：株式会社フジテクノ 所在地：山口県光市光ヶ丘5-5 電話番号：0833-72-1900

URL：<https://www.fuji-techno.com/> 創業：1990年 資本金：1000万円 従業員：30名

